

## 腫瘍内科研修プログラム

### 1. プログラムの目標

- 日本臨床腫瘍学会によって定められた研修カリキュラム（「がん薬物療法専門医のためのカリキュラム」）にのっとり，がん薬物療法専門医として必要とされる知識・技能・診療能力を習得する．
- プログラム終了後に，本プログラムを含めて5年以上のがん治療の臨床研修を行う事により，日本臨床腫瘍学会認定がん薬物療法専門医の受験資格を得る．

### 2. 指導スタッフ

- 指導責任者：柴田和彦（日本臨床腫瘍学会認定がん薬物療法専門医・暫定指導医）
- 共同指導者：経田克則（日本臨床腫瘍学会認定暫定指導医）

### 3. プログラムへの参加資格

- 2年間の初期研修後，1年間の一般内科研修（この間，血液内科，呼吸器内科，消化器内科のいずれかを履修している事が望ましい）を修了し，内科認定医試験を受験予定である者．またはすでに内科認定医資格あるいは他の癌関連科の認定医・専門医資格を有する者．
- 非喫煙者である事（虚偽申告は許されない）

### 4. プログラムの修了年限

- 本プログラムの修了年数は2年間とする．希望により，さらに2年間までの延長が可能である．
- 終了後，研修中の診療態度等を参考に，当院腫瘍内科への就職も可能である．また，金沢大学呼吸器内科・血液内科・大学院等での臨床研究・基礎研究・トランスレーショナルリサーチに従事する事も推奨する．

## 5. プログラムの目標

- 総論：以下の項目につき，十分な知識を有するようになる．
  - i) がんの生物学
  - ii) がんの疫学・スクリーニング・予防
  - iii) 生物統計学および臨床試験
  - iv) 病期分類
  - v) 治療のモダリティ：手術，放射線治療，抗がん剤，生物学的治療
  - vi) 抗がん剤の臨床薬理
  - vii) 抗がん剤治療の支持療法
  - viii) オンコロジック・エマージェンシーへの対応
  - ix) 緩和ケア，終末期ケア
  - x) サイコオンコロジー
  - xi) 患者教育
  - xii) 生命倫理
- 各論：以下の進行癌につき，複数の患者を担当して，薬物療法を受ける患者を診療する能力を獲得する．
  - i) 頭頸部癌
  - ii) 小細胞肺癌
  - iii) 非小細胞肺癌
  - iv) 食道癌
  - v) 胃癌
  - vi) 結腸・直腸癌
  - vii) 肝・胆管・胆嚢癌
  - viii) 膵癌
  - ix) 泌尿器癌：腎細胞癌，尿路上皮癌，前立腺癌
  - x) 卵巣癌
  - xi) 子宮癌
  - xii) 胚細胞性腫瘍
  - xiii) 乳癌
  - xiv) 白血病
  - xv) 悪性リンパ腫
  - xvi) 多発性骨髄腫

xvii) 原発不明癌

\* 特に重点となる疾患に関しては、下線で示した。

6. プログラムの内容

- 2年間の間に、呼吸器腫瘍、消化器腫瘍、血液腫瘍の各分野で6ヶ月間ずつの研修を行い、残り6ヶ月間でその他の領域の研修を行う。
- 常時10名程度のがん薬物療法対象患者を主治医として担当する。
- 総合的がん診療センター外来治療室において、外来化学療法の実務を担当する。
- 剖検例を年1例以上担当する。
- 学会発表を年1回以上行う。
- 学会発表した内容を、論文にまとめる。最低1編の筆頭著者での論文作成を行う。
- 週1回の症例カンファレンスで症例検討を行う。
- 5大がんのキャンサーボードに参加し、治療方針の決定に参画する。
- 臨床試験に、担当医として参加し、臨床試験の意義、方法、インフォームドコンセント、プロトコールに基づく治療、症例報告書の作成等について、知識と経験を積む。
- 年10回の「がん治療セミナー」に参加し、広くがん治療・薬物療法に関する知識を得る。
- 日本臨床腫瘍学会または日本がん治療認定医機構主催の教育セミナーに参加する。
- 緩和ケアチームの病棟回診に参加する。
- 抄読会で、N Engl J Med, Lancet, J Clin Oncol, Clin Cancer Res などの臨床腫瘍学の一流誌から1論文を選び、論文の内容を紹介する。
- 北陸がんプロフェッショナル養成プログラムあるいはがん集学的治療研究財団のe-Learningシステムを用いて、臨床腫瘍学に関連する基礎的知識を習得する。

## 週間スケジュール

時刻	月	火	水	木	金
8:30 12:30	病棟業務 外来治療室当番（週 1 - 2 回）				
13:30 15:00	総回診	検査業務等		総回診	病棟 CC
15:00 16:30	病棟業務				
16:30 17:30	肺がん カンサー ボード	肝がん カンサー ボード	緩和ケアチ ーム活動	乳がん カンサー ボード	消化器がん カンサー ボード